

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : TC2000 マルチクリーナー (2石)  
 会社名 : 株式会社パーカーコーポレーション  
 住所 : 東京都中央区日本橋人形町2-22-1  
 担当部門 : 化工品部  
 電話番号 : 03-5644-0604  
 FAX 番号 : 03-5644-0664

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	: 引火性液体	区分2
健康有害性	: 急性毒性 (経口)	区分外
	: 急性毒性 (経皮)	区分外
	: 急性毒性 (吸入/蒸気)	区分4
	: 皮膚腐食性/刺激性	区分2
	: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	: 生殖毒性	区分2
	: 特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外または分類できない

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 引火性の高い液体および蒸気。  
 吸入すると有害。  
 皮膚刺激。  
 重篤な眼の損傷。  
 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。  
 呼吸器への刺激のおそれ。  
 眠気やめまいのおそれ。

注意書き 【安全対策】

: 使用前に取扱説明書を入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 熱、火花、裸火、高温のものから遠ざけること。—禁煙。  
 容器を密閉しておくこと。  
 静電気に敏感な物質を積みなおす場合や引火性の蒸気の発生がある場合は、容器のアースをとること。  
 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。  
 火花を発生しない工具を使用すること。  
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

- 取扱い後は手、顔などをよく洗うこと。  
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
 呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること
- 注意書き 【応急措置】** : 火災の場合には、泡、炭酸ガス、粉末等を使用すること。  
 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。  
 皮膚や髪に付着した場合 : 直ちに全ての汚染された衣類を脱ぎ、取り除く。  
 皮膚を流水、シャワーで洗う。  
 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズが容易に外せる場合は外し、洗浄を続ける。  
 直ちに医師に連絡すること。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。  
 暴露または暴露の懸念がある場合 : 医師の診断、手当てを受けること。  
 皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断、手当てを受けること。
- 注意書き 【保管】** : 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。  
 涼しい所、換気の良い場所で保管すること。  
 施錠して保管すること。
- 注意書き 【廃棄】** : 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成、成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 化学名又は一般名 : 石油系炭化水素  
 成分及び含有量

[文書交付対象成分]	[含有量(%)]	[化学式]	[官報公示整理番号]	[CAS No.]
ナフ(石油類) (水素化処理 重質)	60~70	-	-	64742-48-9
プロピルアルコール	30~40	C <sub>3</sub> H <sub>7</sub> OH	化審法 2-207	71-23-8
ナン	1~10	C <sub>8</sub> H <sub>20</sub>	化審法 2-9	111-84-2

### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所へ移動させ安静にして、医師の診断を受ける。  
 皮膚に付着した場合 : 汚染した衣服類等は速やかに脱ぎ捨て、触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とし、医師の手当てを受ける。  
 目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。  
 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続ける。速やかに眼科医の手当てを受ける。  
 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗い、コップ1~2杯の水を飲ませ、安静にして直ちに医師の手当てを受ける。無理に吐かせないこと。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。  
 揮発性が強いので吐き出させると、かえって肺への吸引等の危険が増す。

### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 霧状消火液、粉末消火薬剤、二酸化炭素、耐アルコール泡消火剤  
 使ってはならない消火剤 : 棒状水  
 特有の消火方法 : 消火活動は可能な限り風上から行う。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急措置 : 漏出時の処理を行う際には、できるだけ適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

環境に対する注意事項 : 漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法  
・機材 : 少量の場合、乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸着させて、密閉できる容器に回収する。

大量の場合には盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。

二次災害の防止策 : 熱、炎、スパークなど着火源となるものを速やかに取り除くと共に、消火剤を用意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : 保護具を着用し、吸い込んだり、皮膚や目に付着しないようにする。  
できるだけ風上から作業する。静電気対策を行い、作業着、作業靴は導電性のものを用いる。

局所排気・全体換気  
注意事項 : 8. 暴露防止及び保護措置を参照  
蒸気の発散をできるだけ抑え、作業環境を許容濃度以下に保つようにする。密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。取り扱いは、換気の良い場所で行う。換気装置をつける場合は、防爆タイプを用いる。

安全取扱い注意事項 : 炎、火花又は高温体、強酸化剤との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させない。使用後は密栓する。  
指定数量以上の量を取り扱う場合は、消防法に定められた基準を満たした製造所、貯蔵所、取扱所で行う。  
本安全データシート(SDS)を作業場に掲示するなどして、作業者に危険有害性等を周知すること。

### 保管

適切な保管条件 : 日光の直射を避け、通気の良い室内に保管する。火気厳禁。  
危険物の表示をして保管する。  
熱、スパーク、火炎並びに静電気蓄積を避ける。  
保管場所で使用する電気器具は、防爆構造とし、器具類は接地する。  
ハロゲン類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 屋内作業場では、防爆タイプの局所排気装置を設置する。  
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 200ppm, 1050mg/m<sup>3</sup> (2006年)(ノソ)

ACGIH : TLV-TWA 200ppm, 1050mg/m<sup>3</sup> (2006年)(ノソ)

TLV-TWA 200ppm, 492mg/m<sup>3</sup> (2006年)(フ<sup>o</sup>ロ<sup>o</sup>ルアルコール)

保護具

呼吸用の保護具	: 有機ガス用防毒マスク、送気マスク等。
手の保護具	: 耐溶剤性手袋。
目の保護具	: 側面シールドつき保護眼鏡。
皮膚及び身体の保護具	: 保護服、保護長靴、保護前掛け等。
衛生対策	: 取扱後は手、顔等を良く洗い、うがいをする。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観	
形状	: 液体
色	: 無色～淡黄色
臭い	: 特異臭
pH	: 該当しない
融点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 21°C以上(密閉式)
発火点	: データなし
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度 (空気=1)	: データなし
密度	: 約 0.78 (原液, 25°C)
溶解性	: 水に一部溶解。 石油系炭化水素等の有機溶媒に溶解。
オクタノール／水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件では安定。
避けるべき条件	: 加熱、スパーク、裸火およびその他の発火源を避ける。
混触危険物質	: 強酸化剤との混合。
危険有害な分解生成物	: データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: (区分外)
急性毒性 (経皮)	: (区分外)
急性毒性 (吸入／蒸気)	: 吸入すると有害 (区分 4)
皮膚腐食性／刺激性	: 皮膚刺激 (区分 2)
眼に対する重篤な損傷性 ／刺激性	: 重篤な眼の損傷 (区分 1)
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: 発がん性のおそれの疑い (区分 2)
生殖毒性	: 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い (区分 2)
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 呼吸器への刺激のおそれ (区分 3) 眠気やめまいのおそれ (区分 3)
特定標的臓器毒性	: データなし

(反復暴露)

吸引性呼吸器有害性 : データなし

**1 2. 環境影響情報**

水生環境有害性 (急性) : データなし  
 水生環境有害性 (長期間) : データなし  
 残留性/分解性 : 活性汚泥で分解する。  
 生体蓄積性 : データなし  
 土壤中の移動性 : データなし  
 オゾン層への有害性 : 該当しない

**1 3. 廃棄上の注意**

残余廃棄物 : 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) 及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。特別管理産業廃棄物に指定されているので、同基準に従って委託処分する。

汚染容器・包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) 及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

**1 4. 輸送上の注意**

国際規制  
 国連分類 : クラス 3 引火性液体類  
 国連番号 : 1993  
 品名 : その他の引火性液体  
 容器等級 : II  
 海洋汚染物質 : 非該当

国内規制  
 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。  
 海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。  
 航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。  
 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

**1 5. 適用法令**

消防法 : 危険物 第四類第二石油類 (非水溶性)  
 毒物及び劇物取締法 : 該当しない  
 労働安全衛生法 : 名称を表示すべき有害物 石油ナフサ、ナフ、プロピルアルコール  
 ※2016年6月1日より施行  
 通知対象物 (57条の2) 第330号 石油ナフサ  
 第432号 ナフ  
 第494号 プロピルアルコール  
 施行令別表1 危険物 (引火性のもの)  
 化学物質管理促進法 : 該当しない

## 16. その他の情報

記載内容の問合せ先	: 株式会社パーカーコーポレーション 技術本部 化工品技術室 電話番号 03-5634-8491 FAX番号 03-5634-8495
引用文献	: 原料供給者情報 : 化学物質管理促進法データ 化学工業日報社 : GHS 分類結果データベース 製品評価技術基盤機構 : 労働安全衛生法対象物質全データ 化学工業日報社 : 危険物船舶輸送及び貯蔵規則 海文堂 : 安全データシートの作成指針 日本化学工業協会編

ここに記載された危険性・有害性の情報は現時点で入手できた資料や情報に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。化学物質の有害性には、予見できないこともあり、取扱いには細心の注意を払って下さい。記載事項は、通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。また、この情報は新しい知見および試験等により改正されることがあります。本データシートは、日本国内法令・日本化学工業協会のSDS作成指針に従って作成しており、日本国外での使用や輸送を想定したものではありませんのでご注意ください。